

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年2月3日

上場会社名 株式会社 D T S

上場取引所：東
本社所在都道府県：東京都

コード番号 9682

(URL http://www.dts.co.jp)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 赤羽根 靖隆

問合せ先責任者 役職名 取締役経理部長 氏名 堂本 孝憲 TEL(03)3437-5488

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 売上高

(百万円未満切捨て)

	売上高	
	百万円	%
16年3月期第3四半期	25,991	()
(参考)15年3月期	36,920	

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

当期より四半期業績の開示を行っているため、前年同期実績および増減率につきましては記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国の景気は、企業収益の改善ならびに民間設備投資および輸出の増加等、回復への緩やかな動きが見られました。しかし、公共投資の低迷に加え、個人消費や雇用情勢は依然として厳しい状況で推移しており、本格的な回復へはしばらく時間がかかるものと思われま

す。当社が属する情報サービス産業におきましては、平成14年の夏以降の落ち込みから回復の兆しは見えるものの、競争激化による受注環境の悪化や価格下落圧力等の影響により、引き続き厳しい状況で推移しております。経済産業省公表の「特定サービス産業動態統計」(平成15年11月分確報)によりますと、平成15年4月から11月までの情報サービス産業の売上高対前年同月比では、システム等管理運営受託部門は堅調に推移しているものの、受注ソフトウェアはマイナス成長となった月が多く、売上高全体としてはほぼ横ばいで推移しております。

このような状況のもと、当社グループは前期から注力している営業体制を一層強化し、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕を図り、積極的に営業活動を展開してまいりました。顧客の業種別では、金融業向けの売上高が回復基調にあるとともに、サービス業からの売上高が堅調に推移しております。また、サービス別の売上高ではオペレーションエンジニアリングサービスおよびネットワークエンジニアリングサービスが順調に推移しております。その結果、当第3四半期の連結売上高は259億91百万円となり、計画通りに推移しております。

連結売上高の内訳（単位：百万円）

(参考)単独売上高の内訳（単位：百万円）

システムエンジニアリングサービス	15,524
オペレーションエンジニアリングサービス	5,910
ネットワークエンジニアリングサービス	2,883
(情報サービス計)	24,318
プロダクトサービス	395
人材派遣	1,277
(その他計)	1,672
(合計)	25,991

システムエンジニアリングサービス	14,135
オペレーションエンジニアリングサービス	5,353
ネットワークエンジニアリングサービス	2,850
(情報サービス計)	22,339
プロダクトサービス	317
(合計)	22,656

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

[概要]

年金の積立不足による収益圧迫のリスクを排除することを主たる目的として、平成 15 年 12 月をもちまして税制適格退職年金制度を終了し、平成 16 年 1 月に確定拠出型年金制度へと変更いたしました。この変更に伴い、退職給付引当金が 6 億 38 百万円減少するとともに、1 億 83 百万円を特別利益として計上しております。

3 . 平成 1 6 年 3 月期の連結業績予想 (平成 1 5 年 4 月 1 日 ~ 平成 1 6 年 3 月 3 1 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	37,672	3,801	1,745	142 69

[業績予想に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の売上高の実績は計画通りに推移いたしております。したがって、現時点においては平成 15 年 11 月 10 日に公表いたしました業績予想数値に修正はありません。なお、当社におきましては、第 4 四半期 (1 ~ 3 月) の業績が通期業績に対して最も高い割合を占めております。したがって、第 4 四半期の動向が通期業績に大きな影響を与える傾向にあります。

業績予想につきましては、業界の動向を含む経済状況、お客様の動向等、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、種々の不確実な要因により、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。

以 上